

09/303 53



日本国特許庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて  
る事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed  
in this Office.

出願年月日

Date of Application:

2000年 3月21日

願番号

Application Number:

特願2000-077657

願人

Applicant(s):

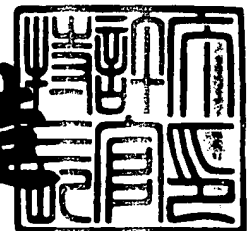
有限会社ハートギフト

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 3月 9日

特許庁長官  
Commissioner,  
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 P0362HG05

【提出日】 平成12年 3月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【発明者】

    【住所又は居所】 兵庫県西宮市樋の池町 2 7 - 1 4 - 6 0 5

    【氏名】 池田 文子

【特許出願人】

    【住所又は居所】 兵庫県西宮市樋の池町 2 7 - 1 4 - 6 0 5

    【氏名又は名称】 有限会社ハートギフト

【代理人】

    【識別番号】 100104581

    【弁理士】

    【氏名又は名称】 宮崎 伊章

【手数料の表示】

    【予納台帳番号】 049456

    【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

    【物件名】 明細書 1

    【物件名】 要約書 1

    【物件名】 委任状 1

    【援用の表示】 平成 1 2 年 3 月 2 1 日提出の包括委任状

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 オンラインギフト方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 通信ネットワークを利用してギフト商品を贈答する方法であって、

婚約している 2 人の利用者が、通信ネットワークを利用した仮想空間と、当該仮想空間内において各利用者毎に定義されたシンボルとを共有しており、

2 人の利用者は前記仮想空間内で結婚式場を決める際に、結婚式の参列者である被贈答人に引き出物として気に入ったギフト商品を選択してもらうためのギフト商品群を少なくとも選択し、

ギフト商品取扱い業者は被贈答人に、引き出物として前記ギフト商品群情報を含む CD-ROM を送り、

被贈答人はその CD-ROM を用いて、ギフト商品群の中から気に入ったギフト商品を選択してそのギフト商品情報をギフト商品取扱い業者に通信ネットワークを利用して送信し、

ギフト商品取扱い業者は被贈答人からのギフト商品情報を受信して、当該ギフト商品情報に係るギフト商品を被贈答人に送ることにより、

前記利用者である贈答人が被贈答人に結婚式の引き出物であるギフト商品を贈答するオンラインギフト方法。

【請求項 2】 仮想空間に仮想店舗が少なくとも設けられており、当該仮想店舗を利用して、贈答人が被贈答人に対するギフト商品を選択して贈答する請求項 1 記載のオンラインギフト方法。

【請求項 3】 CD-ROM には被贈答人情報が含まれており、ギフト商品情報とともに被贈答人情報もギフト商品取扱い業者に送信される請求項 1 又は 2 記載のオンラインギフト方法。

【請求項 4】 CD-ROM にはギフト商品取扱い業者に関する電子メールアドレス情報を含む送信情報も含まれており、CD-ROM に含まれているデータをコンピュータに係る画面上に表示して、気に入ったギフト商品を選択すると、この送信情報により、そのギフト商品情報を含む電子メールがギフト商品取扱い

業者に通信ネットワークを利用して送信される請求項 1 乃至 3 のいずれかの項に記載のオンラインギフト方法。

【請求項 5】 CD-ROM には、贈答人から被贈答人へのメッセージであるメッセージ情報が含まれている請求項 1 乃至 4 のいずれかの項に記載のオンラインギフト方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、通信ネットワークを利用したオンラインギフト方法に関する。

【0002】

【課題を解決するための手段】

本発明では、鋭意検討の結果、通信ネットワークを利用してギフト商品を贈答する方法であって、

婚約している 2 人の利用者が、通信ネットワークを利用した仮想空間と、当該仮想空間内において各利用者毎に定義されたシンボルとを共有しており、

2 人の利用者は前記仮想空間内で結婚式場を決める際に、結婚式の参列者である被贈答人に引き出物として気に入ったギフト商品を選択してもらうためのギフト商品群を少なくとも選択し、

ギフト商品取扱い業者は被贈答人に、引き出物として前記ギフト商品群情報を含む CD-ROM を送り、

被贈答人はその CD-ROM を用いて、ギフト商品群の中から気に入ったギフト商品を選択してそのギフト商品情報をギフト商品取扱い業者に通信ネットワークを利用して送信し、

ギフト商品取扱い業者は被贈答人からのギフト商品情報を受信して、当該ギフト商品情報に係るギフト商品を被贈答人に送ることにより、

前記利用者である贈答人が被贈答人に結婚式の引き出物であるギフト商品を贈答するオンラインギフト方法を採用した。

【0003】

従って、本発明では、婚約している 2 人の利用者は、実際に顔を合わせなくて

も、あたかも会っているかのように会話をしながら、実際の結婚式場を再現した仮想の結婚式場を体現しながら気に入った結婚式場を選びつつ、引き出物等も選ぶことができる。

【 0 0 0 4 】

特に、通信ネットワークを利用しているので、婚約しているカップルは、通信ネットワークに接続することができる機器（以下、「ネット接続機器」と称する場合がある）を用いて、家に居ながらであっても、或いはあらゆる場所であっても、あたかもカップルが実際に会って会話しているかのように、結婚式場を見ながら、引き出物であるギフト商品を選ぶことができる。そのため、引き出物（ギフト商品）を取り扱っている店舗に足を運ぶ必要はない。また、注文する時間にも制限はなく、24時間いつでも注文を行うことができる。

【 0 0 0 5 】

本発明では、仮想空間に仮想結婚式場が少なくとも設けられており、当該仮想結婚式場内部に入り体現することができる。

【 0 0 0 6 】

一方、参列者である被贈答人は、ギフト商品群情報が含まれているCD-ROM（以下、「カタログデータCD」と称する場合がある）を受け取り、そのカタログデータCDをコンピュータの所定の位置にセットして、そのカタログデータCDにデータとして含まれているギフト商品群情報をコンピュータに係る画面に表示させることにより、結婚式の新郎新婦である贈答人が選択したギフト商品群を見ることができる。そして、そのギフト商品群から気に入ったギフト商品を選択して、ネット接続機器を用いて、そのギフト商品情報をギフト商品取扱い業者に送信することにより、気に入ったギフト商品をギフト商品業者から受け取ることができる。

【 0 0 0 7 】

特に、CD-ROMを用いているので、商品の情報をより詳細に得ることができる。例えば、マウスによってクリックする方法などの選択方法によって、商品のいずれかの所定の表示位置を選択すると、商品の詳細な説明や画像が表示される構成を採用することにより、より簡単にすばやくその商品の詳細な説明や画像

を見ることができるようになる。

【 0 0 0 8 】

また、CD-ROMのデータの表示にネット接続機器を用いていると、そのままギフト商品取扱い業者に気に入ったギフト商品の情報を送信して、注文することができる。

【 0 0 0 9 】

従って、被贈答人は、ギフト商品の選択及びその注文を、ネット接続機器上で行うことができる。

【 0 0 1 0 】

ギフト商品取扱い業者は、贈答人からギフト商品を送りたい旨の注文を、通信ネットワークを介して受けると、注文されたギフト商品群の情報をCD-ROMにデータとして含有させて、そのカタログデータCDを指定された被贈答人に送ることにより、被贈答人に、贈答人からギフト商品の注文を受けている旨を知らして、そのギフト商品の情報をカタログデータCDとして渡すことができる。そして、被贈答人から気に入ったギフト商品情報を受けると、そのギフト商品を被贈答人に送ることにより、ギフト商品を被贈答人に渡すことができる。

【 0 0 1 1 】

本発明では、仮想空間に仮想店舗が少なくとも設けられており、当該仮想店舗を利用して、贈答人が被贈答人に対するギフト商品を選択して贈答するオンラインギフト方法が好ましい。このように、コンピュータ等のネット接続機器上の画面に、仮想店舗が設けられていると、カップルで買い物をしているような雰囲気引き出物を選択することができるため、より一層楽しく引き出物をギフト商品を選ぶことができる。

【 0 0 1 2 】

また、本発明のオンラインギフト方法では、CD-ROMには被贈答人情報が含まれており、ギフト商品情報とともに被贈答人情報もギフト商品取扱い業者に送信されることが好ましい。このように、カタログデータCDに被贈答人情報がデータとして含まれていると、被贈答人がギフト商品取扱い業者にギフト商品情報を送信して注文するときに、被贈答人が自分自身の情報を入力する必要がない

。そのため、被贈答人の煩わしさを大幅に低減することができる。

【0013】

本発明では、CD-ROMにはギフト商品取扱い業者に関する電子メールアドレス情報を含む送信情報も含まれており、CD-ROMに含まれているデータをコンピュータに係る画面上に表示して、気に入ったギフト商品を選択すると、この送信情報により、そのギフト商品情報を含む電子メールがギフト商品取扱い業者に通信ネットワークを利用して送信されるオンラインギフト方法が好適である。このように、カタログデータCDにギフト商品取扱い業者の電子メールアドレス情報を含む送信情報が含まれていると、被贈答人は単に気に入った商品を選択するだけで、その気に入ったギフト商品情報をギフト商品取扱い業者に送信することができる。従って、このような形態であると、被贈答人の煩わしさを一層低減することができる。

【0014】

また、本発明のオンラインギフト方法には、CD-ROMには、贈答人から被贈答人へのメッセージであるメッセージ情報が含まれていることが好ましい。このように、カタログデータCDにメッセージ情報が含まれていると、贈答人からのメッセージを被贈答人に伝えることができる。

【0015】

【発明の実施の形態】

本発明では、複数の利用者同士の間でメッセージを交換する、いわゆる「チャット（おしゃべり）システム」等と称されているメッセージ通信システムを利用している。このようなメッセージ通信システムでは、仮想空間を設けることができる。そのため、前記メッセージ通信システムを用いると、仮想空間で、利用者同士がメッセージを交換して、あたかも会っているかのように会話を行うことができる。

【0016】

本発明のオンラインギフトシステムでは、婚約している2人の利用者は、通信ネットワークを利用して、仮想空間を共有している。この仮想空間は、利用者の視覚的な観点において、平面又は立体的に構成することができる。

## 【 0 0 1 7 】

仮想空間としては、特に制限されず、例えば、日本国のいずれかの場所や、いずれかの外国のどこかの場所を表現した仮想の空間であってもよい。もちろん、仮想空間であるので、実際には存在しない仮想の空間であってもよい。例えば、仮想空間が仮想街（バーチャルタウン）であってもよい。このようなバーチャルタウンでは、仮想の店舗又は商店（単に「仮想店舗」と称する場合がある）が設けられていることが好ましい。

## 【 0 0 1 8 】

また、2人の利用者は、仮想空間内において各利用者毎に定義されたシンボル、いわゆる「アバター」と称されている各利用者自身の化身（シンボル）を共有している。

## 【 0 0 1 9 】

各利用者は、各自のネット接続機器端末で、それぞれの利用者に対応したアバターを操作することができる。例えば、仮想空間内でアバターを好きな場所に動かせることができる。また、文字や音声により、利用者に係るアバターを話させたりすることができる。利用者は、文字情報や音声情報を送信することにより、アバターを話させることができる。

## 【 0 0 2 0 】

このように、仮想空間内では、各利用者に係るアバターが動き、文字や音声により話すことができ、このアバターを用いて、利用者同士が会話を行うことができる。すなわち、利用者同士があたかも会っているかのように、利用者同士は会話をすることができる。

## 【 0 0 2 1 】

本発明のオンラインギフト方法に係るオンラインギフトシステムに、利用者は予め登録していることが好ましい。この登録に際しては、アバターの種類も登録することができる。このように、予め登録することにより、各利用者に適したアバターを用いることができる。例えば、利用者が女性の場合は女性風のアバターを用いることができ、男性の場合は男性風のアバターを用いることができる。また、髪の毛が長い人の場合は、ロングヘアーのアバターを操作することができる。



。もちろん、アバターは化身であるので、利用者自身とは全く異なる容姿又はルックスのアバターも用いることは可能である。すなわち、各利用者の嗜好に合わせたアバターを用いることができる。

【 0 0 2 2 】

例えば、仮想空間には、男性の利用者が男性風のアバターを、女性の利用者が女性風のアバターを用いて、恋人同士のアバターとすることができる。そして、この恋人同士のアバターが、仮想空間としてのバーチャルタウン内で、手をつないで歩くことにより、恋人同士である実際の利用者が、実際に会っていないにもかかわらず、デートしている感覚を体験することができる。もちろん、キスをすることも可能である。

【 0 0 2 3 】

この仮想空間では、結婚式場が設けられていることが好ましい。カップルである利用者に係るアバターが仮想結婚式場に入ると、画面はその仮想結婚式場内の画面に変わり、この仮想結婚式場で結婚式を体現しながら、結婚式場を選ぶことができる。

【 0 0 2 4 】

また、この仮想空間内には、前述のように、仮想店舗（バーチャルストアー）が設けられていることが好ましい。仮想店舗の種類は特に制限されず、各種の商品を取り扱った店舗とすることができる。すなわち、バーチャルタウン内では複数のバーチャルストアーが設けられ、いろいろな商品を販売している形態を有していることが好ましい。

【 0 0 2 5 】

このように、仮想空間内に仮想店舗が設けられていると、恋人同士のアバターが引き出物を選ぶときに仮想店舗に入ると、画面はその仮想店舗内の画面に変わり、仮想店舗内に設置されている仮想商品を、利用者は見ることができる形態とすることができる。仮想店舗内で、恋人同士のアバターが動き、商品を手にとって、どの商品が欲しいのか会話しつつ、商品を選択することができる。

【 0 0 2 6 】

このとき、アバターが仮想商品を手に取ると、その商品の具体的な表示が現れ

る構成とすることができる。

【 0 0 2 7 】

そして、いずれかのアバター（男性のアバター又は女性のアバター）がそれを受け取って買い物かごに入れ、その仮想店舗のレジ（精算台）にその仮想商品を置くことにより、引き出物であるギフト商品を選ぶ形態とすることができる。

【 0 0 2 8 】

ギフト商品取扱い業者は、ギフト商品の代金は、いずれかのアバターに請求することができる。例えば、アバターが財布を出した方の利用者にはその商品の代金を請求することができる。また、予め代金の請求先を登録しておくことにより、その登録された方の利用者に代金を請求することができる。

【 0 0 2 9 】

もちろん、ギフト商品取扱い業者が、参列者である被贈答人に送る商品は、仮想の商品ではなく、本物の商品である。

【 0 0 3 0 】

従って、恋人同士がたとえ離れた場所にいても、結婚式場を体現しながら、2人で一緒に欲しい物を目で見えて探し、会話しながら参列者に対する引き出物を決めることができる。

【 0 0 3 1 】

このように、本発明のオンラインギフト方法は、コミュニケーションと販売とが融合されている。

【 0 0 3 2 】

本発明では、前述のように、利用者は登録していることが好ましい。登録することにより、その利用者（ユーザ）専用のホームページが作成されてもよい。このように、ユーザ専用のホームページが設けられると、仮想空間を有効に利用することができる。

【 0 0 3 3 】

登録に際しては、各利用者に関する情報（例えば、氏名又は名称、住所又は居所、電話番号、電子メールアドレス、クレジットカード等のカード情報など）を登録することができる。

## 【 0 0 3 4 】

なお、本発明の方法では、ギフト商品取扱い業者は、それぞれの結婚式の形態に応じて、引き出物として好適なお勧め商品を提案することができる。このようなお勧め商品としては、種々のデータを蓄積することにより、より豊富な商品群からその人に適した好適な商品を提案することができる。

## 【 0 0 3 5 】

お勧め商品としては、1つの商品だけではなく、複数の商品からなる商品群を提案することができる。お勧め商品として、お勧め商品群が提案された場合、新郎新婦である贈答人は、相手が気に入ると思われる商品群から、贈答人自身が相手が最も気に入ると考える商品を単数又は複数選択することができ、贈答人自身の考えもギフト商品の中に取り込むことができる。

## 【 0 0 3 6 】

なお、本発明では、贈答人は複数のギフト商品を選択して、その中から、参列者である被贈答人に気に入ったギフト商品を選択してもらう方法を採用することが好ましい。すなわち、贈答人は、被贈答人に気に入ったギフト商品を選択してもらうためのギフト商品群を選択することが好ましい。

## 【 0 0 3 7 】

また、贈答人である利用者は、商品の購入に際してメッセージの付加を申し込むことができる。このような形態では、ギフト商品取扱い業者がその商品を送る前に（例えば、商品の申し込みとともに）、利用者が商品に付けるメッセージをギフト商品取扱い業者に知らせることにより、メッセージ付のCD-ROMを被贈答人に渡すことができる。

## 【 0 0 3 8 】

なお、贈答人は商品に係るラッピングも選択することができる。特に、被贈答人登録情報に好きな色や模様などが含まれていると、その商品に係るラッピングが被贈答人に適した色や模様のものであるとすることができる構成を採用することができる。

## 【 0 0 3 9 】

ギフト商品取扱い業者は、贈答人であるユーザからギフト商品群の注文を受け

ると、そのギフト商品群に関する情報（ギフト商品群情報）が含まれているCD-ROMを、参列者である被贈答人に送ることができる。

【0040】

また、そのCD-ROMは、結婚式の時に、参列者である被贈答人に渡される形態であってもよい。

【0041】

このようなCD-ROMには、ギフト商品群情報だけでなく、被贈答人情報（氏名、住所、電話番号、電子メールアドレスなど）や送信情報（ギフト商品取り扱い業者に関する電子メールアドレス情報が含まれている）などの情報も含めることができる。

【0042】

CD-ROMに被贈答人情報が含まれていると、ギフト商品群の中から気に入ったギフト商品に関するギフト商品情報をギフト商品取り扱い業者に送信するときに、被贈答人は自分自身の氏名や住所などを自ら記載などをしてギフト商品取り扱い業者に知らせなくてもよく、被贈答人の煩わしさを低減することができる。また、被贈答人側による記載ミスなどを生じさせない。

【0043】

一方、ギフト商品取り扱い業者は、必ず、被贈答人に関する情報を受け取ることができる。

【0044】

また、CD-ROMにギフト商品取り扱い業者に関する電子メールアドレス情報を含む送信情報が含まれていると、被贈答人はギフト商品情報をギフト商品取り扱い業者に送信する際の煩わしさやミス無くすることができる。すなわち、被贈答人は、受け取ったCD-ROMを、通信ネットワークに接続しているコンピュータの所定の位置にセットし、CD-ROMに含まれているギフト商品群のデータを表示画面上に表示させて、そのギフト商品群の中から気に入ったギフト商品を選ぶのであるが、その際に、表示画面上の気に入ったギフト商品をマウスを用いたクリック等により選択するだけで、そのギフト商品情報をギフト商品取り扱い業者に通信ネットワークを用いて送信することができる。この場合、被贈答人情報

も C D - R O M に含まれていることが好ましい。

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 利用者同士が、実際には離れた場所に居ても、実際に会って会話をしながら結婚式場を選びつつ、引き出物を探しているかのように、参列者に対する引き出物を選択することができるオンラインギフト方法。

【解決手段】 通信ネットワークを利用してギフト商品を贈答する方法であって、婚約している2人の利用者が、通信ネットワークを利用した仮想空間と、当該仮想空間内において各利用者毎に定義されたシンボルとを共有しており、2人の利用者は前記仮想空間内で結婚式場を決める際に、結婚式の参列者である被贈答人に引き出物として気に入ったギフト商品を選択してもらうためのギフト商品群を少なくとも選択し、ギフト商品取扱い業者は被贈答人に、引き出物として前記ギフト商品群情報を含むCD-ROMを送り、被贈答人はそのCD-ROMを用いて、ギフト商品群の中から気に入ったギフト商品を選択してそのギフト商品情報をギフト商品取扱い業者に通信ネットワークを利用して送信し、ギフト商品取扱い業者は被贈答人からのギフト商品情報を受信して、当該ギフト商品情報に係るギフト商品を被贈答人に送ることにより、前記利用者である贈答人が被贈答人に結婚式の引き出物であるギフト商品を贈答するオンラインギフト方法。

【選択図】 なし

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [500104048]

1. 変更年月日	2000年 3月10日
[変更理由]	新規登録
住 所	兵庫県西宮市樋の池町27-14-605
氏 名	有限会社ハートギフト